

# JHLA 患者医療図書サービス支援事業報告

関 和美、真下美津子、高田幸子、宮田ちえ子、長井律子、有田由美子  
日本病院ライブラリー協会

## 【はじめに】

JHLA(日本病院ライブラリー協会)患者医療図書サービス支援事業は、はじめて患者図書室の開設や運営に携わる方、およびすでに関わっている方への支援を行うことを目的として2004年にスタートした。支援事業の取り組みと今後の活動について紹介する。

## 【活動内容】

事業開始以来、研修会や協会機関誌『ほすびたる らいぶらりあん』を通し活動状況報告や会員への啓蒙活動を続けてきた。昨今、患者図書室開設が急増しているが、活動の手ごたえを感じる反面、問題点も多い。そのため、開設準備段階や運営上の問題など図書室を運営する立場に添った具体的な支援が必要であると考え、JHLAホームページ上で『知ることからはじめよう患者図書室』(<http://jhla.org/kanjiva/>)を開設し、情報提供と問い合わせに対応している。

### ①患者図書室の紹介

今後開設する病院、施設への情報提供を目的とし、JHLA 会員病院の患者図書室を紹介。

### ②マニュアルの紹介

書籍『デスクマニュアルシリーズ 患者医療図書サービス-医療情報を中心とした患者図書室』の紹介

### ③医学・医療情報の参考リンク集

からだ・病気・治療・医療情報など、患者図書室に有用なサイトの紹介。

### ④問い合わせ

会員・非会員にかかわらず、患者図書室の開設や運営に伴う疑問や不安をメールで受け付け、支援事業委員の実務経験と調査した情報に基づき回答。

### ⑤参考図書リスト

JHLA 会員病院の所蔵リストを元に、資料選択のわかりやすい参考資料として、書評や現物、患者図書室での閲覧傾向を参考に、対象読者層をも付与したリストの作成(会員のみ公開)。

## 【まとめ】

患者への医療情報の提供は、病院の全職種が連携して、はじめて行えるサービスである。病院図書室担当者が病院スタッフへの橋渡しの役割も務め、情報提供の中心として活動を行うことが重要である。

患者医療図書サービス支援事業では、患者医療図書サービスを開始、あるいは開始予定の施設への支援として、ホームページでの情報提供を中心に活動を展開している。さらに、問い合わせに個別に回答を行っているが、会員のみならず、非会員からも多くの質問が寄せられている。質問者の職種も多岐に亘っている。今後は、より多くの患者医療図書サービス担当者として事例を共有できるような支援を行っていきたい。そのため、これまで受け付けた開設や運営に関する質問および回答事例をホームページ上で公開することも計画中である。